

## 第855回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成26年7月15日（火）午後1時30分から

場 所：県行政庁舎 16階 教育委員会会議室

### 1 出席点呼

### 2 開会宣言

### 3 第854回教育委員会会議録の承認について

### 4 第855回教育委員会会議録署名委員の指名

### 5 教育長報告

- (1) 「入試事務の改善について」の請願への対応について (高校教育課)

### 6 議 事

- 第1号議案 職員の人事について (総務課)  
第2号議案 栗原地区及び本吉地区における県立高校の再編について (教育企画室)  
第3号議案 宮城県教育委員会に属する職員等の配偶者同行休業に関する規則の制定について (教職員課)  
第4号議案 高等学校入学者選抜審議会専門委員の人事について (高校教育課)  
第5号議案 宮城県産業教育審議会委員の人事について (高校教育課)  
第6号議案 宮城県図書館協議会委員の人事について (生涯学習課)  
第7号議案 宮城県スポーツ推進審議会委員の人事について (スポーツ健康課)

### 7 課長報告等

- (1) 平成27年度県立高等学校組織編制計画について (教育企画室)  
(2) 平成27年度公立高等学校入学者選抜について (高校教育課)  
(3) 「松島自然の家再建に係る懇話会」の開催について (生涯学習課)  
(4) 「みやぎの協働教育に係る懇話会」の設置について (生涯学習課)  
(5) 東日本大震災復興支援 特別公開「ゴッホの《ひまわり》展」について (生涯学習課)

### 8 資料（配付のみ）

- (1) 教育庁関連情報一覧について (総務課)  
(2) 平成26年3月高等学校卒業生の就職内定状況について (高校教育課)

### 9 次回教育委員会の開催日程について

### 10 閉会宣言

宮城県教育委員会教育委員長 庄子 晃子 殿  
教育長 高橋 仁 殿  
高等学校入学者選抜審議会委員長 菅野 仁 殿

仙台市青葉区柏木1-2-45

宮城県教職員組合

執行委員長

瀬成田 実

入試制度検討委員会委員長 大木 一彦



## 「入試事務改善について」の請願

### 【請願の趣旨】

日頃より宮城県教職員組合の諸活動に対してご理解と誠意あるご対応をいただいていることに感謝申し上げます。

6月25日、経済協力開発機構（OECD）は日本を含む34カ国・地域の中学校教諭の勤務状況に関する調査結果を公表しました。1週間あたりの勤務時間は日本が53.9時間と最長で、授業以外に部活動や事務作業に長い時間を使っている現実が分かりました。

一方、自らの指導力に対する自己評価は極めて低く、参加国・地域の平均を大きく下回っていることが分かりました。「仕事に忙殺されているうえ自己評価も低い」日本特有の教員像が浮かび上がる結果となりました。

高校入試事務は、中学校教師の多忙の最大要因の一つです。この間、毎年のように改善をすすめていただいていることに対し感謝しますが、宮教組として、さらに改善をはかっていただきたく、以下のことを請願いたします。

### 【請願事項】

- 1 入試事務要項の「中学校長を通して出願」としている部分を改め、出願は本人が直接高校に行くシステムに変えること。
- 2 合格証は、高等学校が直接、本人・保護者に渡すか郵送するシステムに変えること。
- 3 不合格者にも通知すること。
- 4 中学校には結果通知書（合格者一覧表）のみを送付すること。
- 5 受験料の納付方法については、県内金融機関を活用して本人直納方式にすること。
- 6 願書への写真の貼付けはやめること。
- 7 「志願理由書」はなくすこと。あるいは、文章記述欄をなくし、箇条書きでの記述とすること。どうしても書かせたいのであれば、受験当日書かせること。
- 8 調査書について、以下のようすること。
  - ① 教科の評定欄は、指導要録の順番にすること。
  - ② 印をおす箇所を少なくし、校長印のみとすること。
  - ③ 総合的な学習の時間の記述をなくすこと。

【請願事項の詳しい説明】

- 1 入試事務要項の「中学校長を通して出願」としている部分を改め、出願は本人が直接高校に行くシステムに変えること。
- 2 合格証は、高等学校が直接、本人・保護者に渡すか郵送するシステムに変えること。
- 3 不合格者にも通知すること。
- 4 中学校には結果通知書（合格者一覧表）のみを送付すること。

入試事務は、本来高等学校の責任においてすべきことや本人・保護者がすべきことが、あたかも中学校の業務であるかの如く取り扱われていることが多いと、考えています。その根底にあるのが、入試事務要項にある「中学校長を通して出願」としている規定です。この一文を根拠として、「本人の出願」のみならず、合格証書の「本人の受領」までできないこととしています。

出願や合格証書の受領の際、学校の教育活動に支障が出る例が多くあります。全県一学区により一中学校あたりの出願校数が増え、出願の日や、合格発表（2回）の日は、教職員の多くが高校に向かうため、1，2年生の授業を短縮する学校も少なくない状態です。これは出張旅費の支出増にもつながっています。

他県では、実際「本人の出願」としているものもあり、この例にならうべきです。生徒が自分で出願や合格証書の受領を行うことで、生徒に自立の力を育む教育的意味も大きいと考えます。

- 5 受験料の納付方法については、県内金融機関を活用して本人直納方式にすること。
- 6 願書への写真の貼付けはやめること。

受験料の納付は、願書に宮城県収入証紙を貼付する方法となっています。その証紙を貼る仕事はほとんどの中学校で教師の仕事になっています。理由は願書を間違えて書く生徒が多いためです。願書の点検は何名もの教師で行った上で、間違いがあれば、別な用紙に書き直させた後に、証紙を貼っています。私立高校で行なっているように、生徒・保護者が直接、金融機関に納付する方式にすれば、中学校教師の負担も軽減します。

願書への写真貼付については、収入証紙の貼付と同様に、願書の点検を終えた後の教師の仕事になっています。業務量の増加といえます。

- 7 「志願理由書」はなくすこと。あるいは、文章記述欄をなくし、箇条書きでの記述とすること。どうしても書かせたいのであれば、受験当日書かせること。

県教委のこれまでの回答は、「志願理由書」は合否判定の材料とはしないと、「志願理由書は生徒が書くものです」との一点張りでした。しかしそれは受験生の心理をまったくわかっていない者の言葉でしかありません。不安の中にある受験生は、「志願理由書」を合否判定の材料の一つととらえ、精魂込めて書いています。そして、そのチェックや評価を中学校教師に求めているのです。

よって「志願理由書」をなくすことを求めます。それが無理であるならば、最低限、文章記述はなくすことを求めます。

8 調査書について、以下のようにすること。

- ② 教科の評定欄は、指導要録の順番にすること。
- ② 印を押す箇所を少なくし、校長印のみとすること。
- ③ 総合的な学習の時間の記述をなくすこと。

調査書の記入についても課題が多くあります。まず、評定欄についてです。これまでも記載順と異なっていたため、間違いを防ぐために細心の注意が必要でした。現在示されている調査書の案では、国数英を先に出しているため、指導要録とは順序が大きく異なり、これまで以上に神経を使うこととなります。

調査書に印を押す箇所が担任と校長の2箇所あることも改善していただきたいことです。校長印だけあれば十分なのではないでしょうか。かつては主任印の欄もありましたが、1箇所減っただけで、見違えるように業務量が削減されました。

「総合的な学習の時間」は学校によって内容が異なるため、合否判定に使用するのは不適切であり、記入の必要はないと考えます。

第2号議案

栗原地区及び本吉地区における県立高校の再編について

栗原地区及び本吉地区における県立高校の再編について、別紙のとおり決定する。

平成26年7月15日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

## 栗原地区及び本吉地区における県立高校の再編について

学科編成・学校配置の見直しについては、実施計画において実施概要を公表したうえで進めることを基本としていますが、平成25年2月に策定した第2次実施計画において「実施計画に記載のないものであっても、実施準備に速やかに着手する必要がある場合は、実施概要を実施計画に準じた形で個別に公表したうえで実施準備に着手していきます」としています。

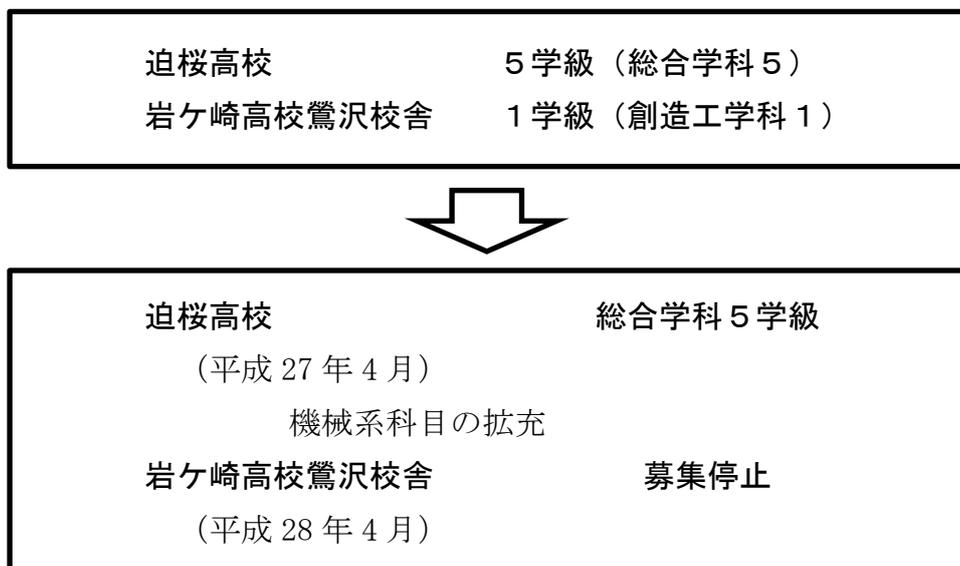
今回、第2次実施計画に記載はないものの、今後の地区の中学校卒業生数の減少の見通しや、学校の活力維持の観点等から、速やかに学校配置の見直しを行う必要があるものと判断し、新たな高校再編計画を公表することとしました。

### 学科編成・学校配置計画概要

再編の基本的考え方に基づき、地区の中学校卒業生数及び必要学級の見通し並びに現在の高校の配置及び学校規模の状況を踏まえ、栗原地区及び本吉地区において、以下のとおり学校の再編を行います。

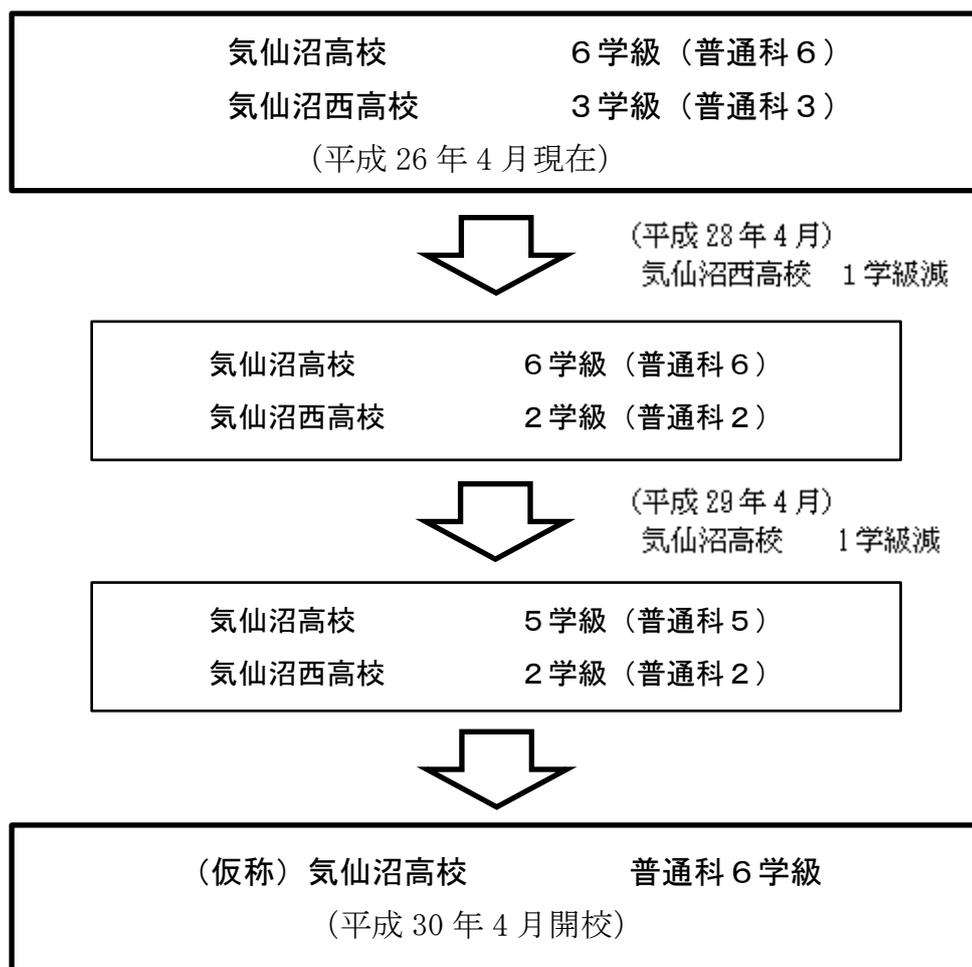
#### (1) 栗原地区における機械系学科の再編

迫桜高校において、自動車系科目に加え機械系科目を大幅に拡充のうえ、同校に機械系学科機能を集約することとし、栗原地区の今後の中学校卒業生数の減少見込み等を踏まえ、岩ヶ崎高校創造工学科（鶯沢校舎）については募集停止とします。



## (2) 本吉地区における高校の再編

本吉地区では、平成26年から32年までに中学校卒業生数が約210人減少する見込みであり、1学年あたり6学級減が必要となっていることを踏まえ、新県立高校将来構想に定める『活力維持や教育機能を十分に発揮し得る学校規模』を維持するため、気仙沼高校と気仙沼西高校を統合し、現行の5校体制を4校体制に再編することで、同地区を牽引する進学拠点校を新設します。



第3号議案

宮城県教育委員会に属する職員等の配偶者同行休業に関する  
規則の制定について

宮城県教育委員会に属する職員等の配偶者同行休業に関する規則を別紙のとおり制定する。

平成26年7月15日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

# 「宮城県教育委員会に属する職員等の配偶者同行休業に関する規則」 の概要について

## 1 制定の理由

地方公務員法の一部を改正する法律が平成25年11月22日に公布、平成26年2月21日に施行され、職員の配偶者の海外転勤に伴い、職員がその配偶者に同行しようとする場合において、退職することなくその配偶者に同行することができる配偶者同行休業制度の導入が可能となったことから、我が県においてもこの法改正の趣旨に則り、「職員の配偶者同行休業に関する条例」（平成26年宮城県条例第45号）が可決され、平成26年7月25日から施行されることとなる。

これに伴い、宮城県教育委員会においても、任命権者として、職員が配偶者同行休業の承認を申請する際に必要となる手続や様式等を定める必要があることから、教育委員会規則を定めるもの。

## 2 規定の内容

本規則は、次の内容について規定する。

- (1) 配偶者同行休業の承認の申請手続に関すること
  - ▶ 申請書様式、添付書類、提出期限 等
- (2) 配偶者同行休業の休業期間の延長手続に関すること
  - ▶ 延長する場合は、(1)の承認の手続等を準用すること
- (3) 職務復帰に関すること
  - ▶ 期間満了又は取消しとなった場合には職務に復帰すること
- (4) 辞令の交付に関すること
  - ▶ 交付を必要とする場合を規定

## 3 施行期日

平成26年7月25日

○宮城県教育委員会規則第 号

宮城県教育委員会に属する職員等の配偶者同行休業に関する規則

(趣旨)

第一条 この規則は、地方公務員法（昭和二十五年法律第二百六十一号。以下「法」という。）及び職員の配偶者同行休業に関する条例（平成二十六年宮城県条例第四十五号）に基づき、宮城県教育委員会に属する職員等の配偶者同行休業の手續等に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第二条 前条に規定する「宮城県教育委員会に属する職員等」とは、次の各号に掲げる一般職の職員（以下「職員」という。）をいう。

- 一 宮城県教育庁の職員
- 二 教育機関の職員

三 市町村立学校職員給与負担法（昭和二十三年法律第三百三十五号）第一条及び第二条に規定する職員（仙台市教育委員会に属する職員を除く。以下「県費負担教職員」という。）（配偶者同行休業の承認の申請手續等）

第三条 職員が、法第二十六条の六第一項の規定による配偶者同行休業の承認を申請するときは、配偶者同行休業承認申請書（様式第一号）に配偶者が外国に住所又は居所を定めて滞在する事由及びその期間を証明する書類を添えて、原則として、配偶者同行休業を始めようとする日の一月前までに所属長を経由して宮城県教育委員会（以下「県教育委員会」という。）に提出しなければならない。この場合において、県費負担教職員にあつては、市町村教育委員会を経由するものとする。

2 市町村教育委員会は、前項の申請書を受理したときは、速やかに、当該申請書に配偶者同

行休業内申書（様式第二号）を添えて、県教育委員会に進達するものとする。

（配偶者同行休業の期間の延長の申請手続等）

第四条 前条の規定は、配偶者同行休業の期間の延長の申請について準用する。

（職務復帰）

第五条 配偶者同行休業の期間が満了したとき、又は配偶者同行休業の承認が取り消されたときは、当該配偶者同行休業に係る職員は、職務に復帰するものとする。

（辞令の交付）

第六条 県教育委員会は、次に掲げる場合には、職員に対して辞令を交付するものとする。

一 職員の配偶者同行休業を承認する場合

二 職員の配偶者同行休業の期間の延長を承認する場合

三 配偶者同行休業をした職員が職務に復帰する場合

（その他）

第七条 この規則に定めるもののほか、配偶者同行休業に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成二十六年七月二十五日から施行する。



様式第 2 号 (第 3 条関係)

文 書 番 号

年 月 日

宮城県教育委員会 殿

〇〇教育委員会

印

配偶者同行休業承認内申書

このことについて、次のとおり内申します。

|         |             |                      |
|---------|-------------|----------------------|
| 種 別     | 承 認 ・ 不 承 認 |                      |
| 学 校 名   |             |                      |
| 職 ・ 氏 名 |             |                      |
| 給 料     | 月 額         | 給料表 ( )<br>級 号俸 ( 円) |
|         | 発令年月日       | 年 月 日                |
| 内 申 事 由 |             |                      |
| 備 考     |             |                      |

## 平成27年度県立高等学校組織編制計画について

### 1 再編統合

新県立高校将来構想第2次実施計画に基づき、登米地区において再編統合を行い、次のとおり新たに学校を設置します。

なお、新たに設置する宮城県登米総合産業高等学校においては、複数の職業系専門学科が併置されることを生かして、各学科で学んだ知識や技能を共有し、独創的な発想力と豊かな人間性を身に付けた産業人材の育成を目指します。

- ① 産業全般の基礎的事項や所属する学科以外の専門科目の学習
- ② 異なる学科の生徒で構成されたグループによる、地域企業と連携した地域課題解決へ向けた取組
- ③ 地域の高齢化に対応するため、福祉・介護サービス分野の人材の育成を目指し、福祉科を設置

#### 【 H26 】

|                    |          |
|--------------------|----------|
| <b>宮城県上沼高等学校</b>   |          |
| 普通科                | 1学級（40人） |
| 農業技術科              | 1学級（40人） |
| <b>宮城県米山高等学校</b>   |          |
| 普通科                | 1学級（40人） |
| 園芸ビジネス科            | 1学級（40人） |
| <b>宮城県米谷工業高等学校</b> |          |
| 機械システム科            | 1学級（40人） |
| 電気システム科            | 1学級（40人） |
| 情報技術科              | 1学級（40人） |

|                  |           |
|------------------|-----------|
| <b>宮城県登米高等学校</b> |           |
| 普通科              | 3学級（120人） |
| 商業科              | 1学級（40人）  |

#### 【 H27 】

|                      |          |
|----------------------|----------|
| <b>宮城県登米総合産業高等学校</b> |          |
| 農業科                  | 1学級（40人） |
| 商業科                  | 1学級（40人） |
| 機械科                  | 1学級（40人） |
| 電気科                  | 1学級（40人） |
| 情報技術科                | 1学級（40人） |
| 福祉科                  | 1学級（40人） |

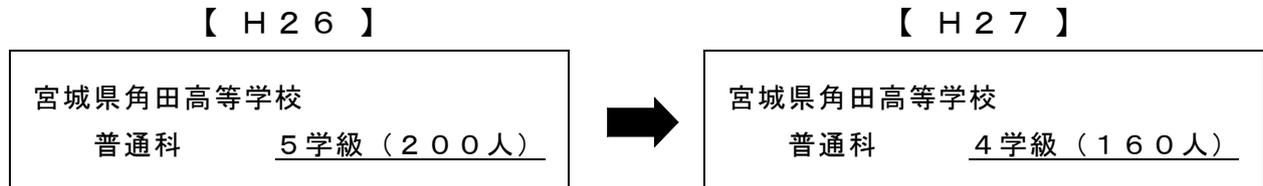
|                  |           |
|------------------|-----------|
| <b>宮城県登米高等学校</b> |           |
| 普通科              | 3学級（120人） |

※ 平成26年度に上沼高校、米山高校及び米谷工業高校に在籍する生徒で、引き続き平成27年度も高校に在籍する生徒は、平成27年度から登米総合産業高校の生徒となります。

## 2 学級減の措置

生徒数の減少等に対応するため、次の学校において、第1学年の学級数を1学級減とします。

(南部地区)

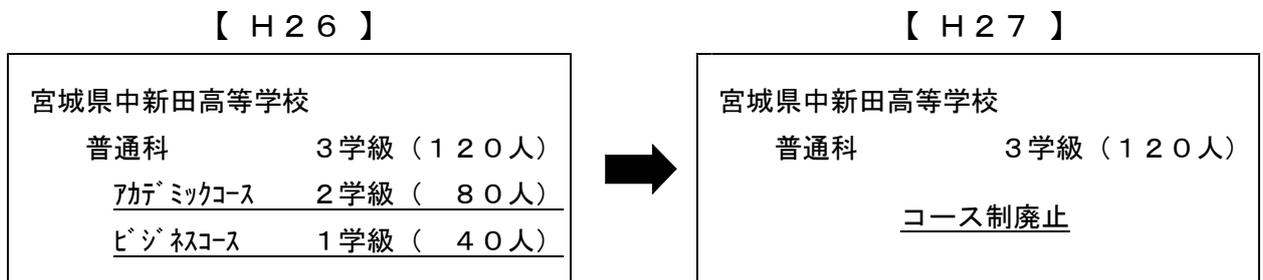


## 3 学科改編等

### 宮城県中新田高等学校

生徒の多様な進路希望に対応するため、コース制を廃止し、類型制を導入します。

- ① 文型・理型・商業型・情報型の4類型を設定
- ② 進路達成に向けた基礎学力や社会で必要となる能力の伸長
- ③ 地域の高齢化に対応するため、家庭における介護技術を修得する科目を開設



## 平成27年度公立高等学校入学者選抜について

## 1 募集定員 実施校:75校157学科(コース・部を含む)

|                  |        | 平成27年度 | 平成26年度 | 増減      |
|------------------|--------|--------|--------|---------|
| 全募集定員            |        | 15,920 | 16,080 | ▲ 160   |
| 全日制課程            | 募集定員   | 14,920 | 15,080 | ▲ 160   |
|                  | 前期選抜   | 4,828  | 3,598  | 1,230   |
|                  | 後期選抜※1 | 10,092 | 11,482 | ▲ 1,390 |
| 定時制課程            | 募集定員   | 1,000  | 1,000  | 0       |
|                  | 前期選抜   | 308    | 222    | 86      |
|                  | 後期選抜※1 | 692    | 778    | ▲ 86    |
| 通信制課程<br>(美田園高校) | 募集定員   | 500 ※2 | 500 ※2 | 0       |

※1 後期選抜の定員は前期選抜後に確定

※2 一期入学者選抜(春募集)の募集人数は、募集定員の90%(450人)  
二期入学者選抜(秋募集)の募集人数は、募集定員の10%(50人)

## 2 日程等

|      | 前期選抜・連携型選抜※3  | 後期選抜  | 第二次募集※4  |
|------|---|---|--|
| 出願資格 | 志望する高等学校が事前に公表する「出願できる条件」を満たす生徒                           | 前期選抜を受験していない生徒及び前期選抜に合格していない生徒                        | 前期選抜、後期選抜のいずれにも合格していない生徒                             |
| 実施日  | 平成27年2月3日(火)  | 平成27年3月5日(木)  | 平成27年3月19日(木)・20日(金)※5                               |
| 実施内容 | ○3教科の学力検査<br>(国語・数学・英語)<br>○学校独自検査<br>(面接・実技・作文等から1つ以上実施) | ○5教科の学力検査<br>(国語・社会・数学・理科・英語)<br>○面接や実技を実施する<br>場合がある | 面接、実技、作文、<br>学力検査(国語・数学・英語)のいずれか1つ又は複数を実施する<br>場合がある |
| 合格発表 | 平成27年2月10日(火)   | 平成27年3月12日(木)   | 平成27年3月19日(木)・20日(金)※5                               |

※3:連携型選抜 連携型中高一貫教育を行っている、南三陸町内の2中学校(志津川中、歌津中)を対象として、志津川高校において実施

※4:合格者数が募集定員に満たない高校で実施 ※5:実施校で決定し、後日公表

### 3 事務日程(予定)

| 事 項                               |                 | 期 日                       |                          |
|-----------------------------------|-----------------|---------------------------|--------------------------|
| 募 集 定 員 公 表                       |                 | 平成26年7月1日(火)              |                          |
| 入学者選抜一覧【決定版】公表                    |                 | 平成26年7月1日(火)              |                          |
| 第1回志願者予備調査                        |                 | 平成26年11月4日(火)から11月6日(木)まで |                          |
| 第2回志願者予備調査                        |                 | 平成27年1月7日(水)から1月9日(金)まで   |                          |
| 前期選抜<br>連携型<br>選 抜<br>社会人<br>特別選抜 | 出 願 受 付         | 平成27年1月13日(火)から1月16日(金)まで |                          |
|                                   | 出 願 書 類 受 領 書   | 平成27年1月13日(火)から1月16日(金)まで |                          |
|                                   | 受 験 票 等 送 付 一 覧 | 平成27年1月22日(木)             |                          |
|                                   | 前 期 選 抜         | 平成27年2月3日(火)              |                          |
|                                   | 学力検査・学校独自検査     |                           |                          |
|                                   | 結 果 通 知         | 平成27年2月10日(火)             |                          |
|                                   | 合 格 者 の 発 表     |                           |                          |
| 後期選抜                              | 出 願 受 付         | 平成27年2月19日(木)から2月24日(火)まで |                          |
|                                   | 学 力 検 査         | 平成27年3月5日(木)              |                          |
|                                   | 合 格 者 の 発 表     | 平成27年3月12日(木)             |                          |
| 第 二 次 集 募                         | 出 願 受 付         | 平成27年3月13日(金)から3月17日(火)まで |                          |
|                                   | 学 力 検 査 等       | 平成27年3月19日(木)から3月20日(金)まで |                          |
|                                   | 合 格 者 の 発 表     |                           |                          |
| 通 信 制 程                           | 一期入学者選抜         | 出願受付                      | 平成27年3月8日(日)から3月13日(金)まで |
|                                   |                 | 合格通知                      | 平成27年3月26日(木)まで          |
|                                   | 二期入学者選抜         | 出願受付                      | 平成27年9月7日(月)から9月11日(金)まで |
|                                   |                 | 合格通知                      | 平成27年9月25日(金)まで          |

## 「松島自然の家再建に係る懇話会」の開催について

### 1 開催趣旨

本懇話会については、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた松島自然の家の再建場所やその機能に関し意見を求めるため、平成24年8月に設置したものである。

県教育委員会では、東松島市からの要望や本懇話会の意見を踏まえ、平成24年11月に再建場所を東松島市立宮戸小学校敷地及びその周辺農地に決定し、平成25年度に野外活動フィールド用地を取得したところである。

今後、平成28年度に野外活動フィールドを再開し、宮戸小学校敷地を取得の上、平成31年度には本館・宿泊棟を含め全面再開する計画であることから、今般、再開後の活動プログラムについて広く意見をいただくため、新たな委員も加え、本懇話会を開催するものである。

### 2 主な協議事項及び開催スケジュール

【平成26年度】2回開催（第1回目は7月22日（火）開催予定）

- 野外活動フィールド再開後（平成28年度～）の活動プログラムについて
- 本館・宿泊棟なども含め全面再開後（平成31年度～）の活動プログラムについて

【平成27年度】2回開催

- 本館・宿泊棟などの施設・設備及び宿泊定員等について

#### <協議に当たってのポイント>

活動プログラムの検討に当たっては、地域の自然環境や歴史・文化を最大限に生かすとともに地域との連携を図り、防災教育・防災体験活動の実施についても力を入れていくこととしている。

### 3 懇話会の委員構成

（順不同，敬称略）

| 氏名     | 現職               | 備考              | 区分 |
|--------|------------------|-----------------|----|
| 水谷 修   | 東北学院大学教養学部教授     | 前宮城県社会教育委員      | 再  |
| 石垣 政裕  | 東北大学大学院経済学研究科講師  | 宮城県社会教育委員       | 再  |
| 佐藤 健   | 東北大学災害科学国際研究所教授  | 宮城県防災専門教育アドバイザー | 新  |
| 浅野 恵美  | 宮城県キャンプ協会副会長     |                 | 再  |
| 尾形 将親  | 宮戸コミュニティー推進協議会代表 |                 | 新  |
| 小野 歩   | 東松島市観光物産協会職員     |                 | 新  |
| 小山 修   | 東松島市教育委員会教育次長    |                 | 再  |
| 佐々木 啓悦 | 東松島市立宮戸小学校校長     | 前松島自然の家社会教育主事   | 新  |

## 宮城県松島自然の家の再建計画概要

(平成26年7月1日現在)

### 1 施設概要

(1) 総敷地面積 約46,000㎡ (東松島市立宮戸小学校敷地及び周辺農地)

○本館等建設予定地 約14,000㎡ (宮戸小学校敷地)

○野外活動フィールド 約32,000㎡ (周辺農地)

(2) 本館等の施設 (宮戸小学校移転後に同敷地に整備)

○本館・宿泊棟 (一体型)

・1F 事務室, 食堂, 風呂, 研修室

・2F 宿泊室 (一部バリアフリー), 研修室等

○体育館

(3) 野外活動フィールド内の施設・設備 (周辺農地に整備)

○テントサイト

○多目的グラウンド

○コテージ

○管理棟, 車庫・倉庫

○キャンプファイア場

○野外活動広場

○野外炊飯場

○トイレ・シャワー室

○野外研修棟

○駐車場

○多目的広場

### 2 スケジュール

○H25 野外活動フィールド用地の測量調査

〃 造成工事の基本・実施設計

〃 用地の取得

○H26 野外活動フィールド用地の造成工事

〃 施設等の基本・実施設計

活動プログラムの策定 (懇話会, 地域等での意見をもとに)

○H26~27 野外活動フィールド施設の建築工事

本館等施設の基本設計

○H28 野外活動フィールド業務の再開 (H28 宮戸小学校移転予定)

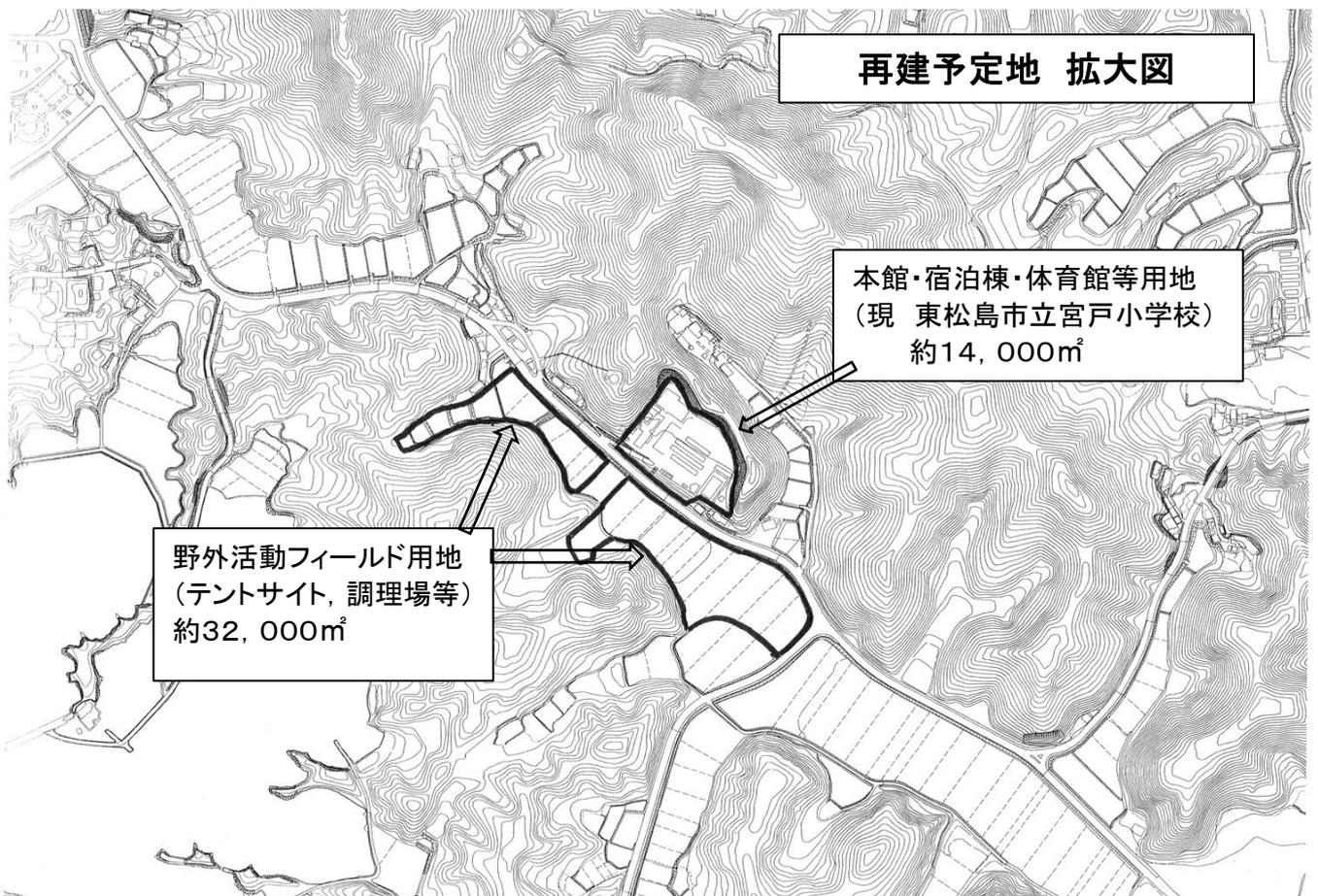
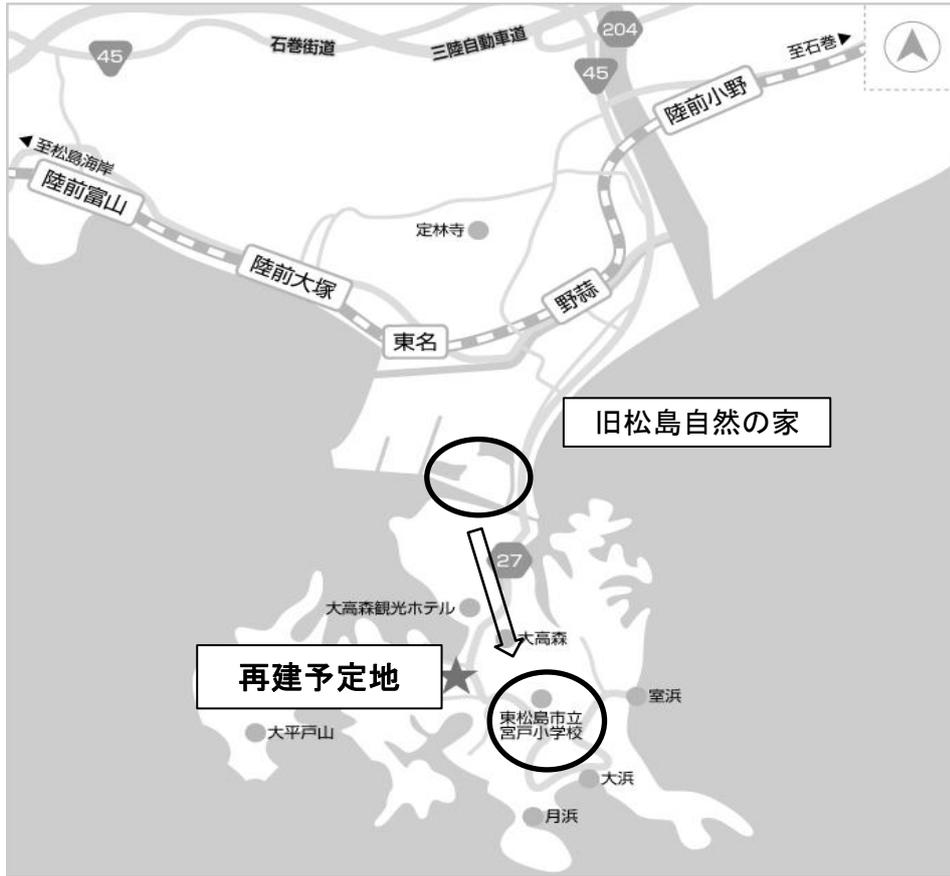
本館等施設の実実施設計

○H29~30 本館等敷地の用地取得 (H29 宮戸小学校・野蒜小学校統合予定)

〃 建築工事

○H31 本館開設, 全面再開

<参考資料2> 松島自然の家 再建予定地 位置図



## 「みやぎの協働教育に係る懇話会」の設置について

### 1 設置目的

県においては、これまで、家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくりを積極的に進めてきたが、東日本大震災によって、沿岸部を中心に甚大な被害を受け、子どもを育てる環境は大きく損なわれた。

そうした状況の中で、平成23年度以降は新たに「協働教育推進総合事業」として、協働教育プラットフォーム事業やみやぎ教育応援団事業等に取り組むなど、関係者が強い絆で連携し合い、地域全体で子どもを育てる仕組みを再構築するため力を注いできた。

震災から3年を経過した今、本県における協働教育の現状と課題について改めて分析・考察を行うとともに、今後の協働教育のあり方とそれを進めるための具体的方策について協議するため、本懇話会を設置するものである。（平成26年7月23日設置）

### 2 主な協議事項及び開催スケジュール

【平成26年度】4回開催〔第1回目は7月23日（水）開催予定〕

- 本県における協働教育の現状と課題について
- 本県における今後の協働教育のあり方について

【平成27年度】3回開催

- 今後の協働教育を進めるための具体的方策について

### 3 懇話会の委員構成

（順不同、敬称略）

| 氏名     | 現職                        | 備考          |
|--------|---------------------------|-------------|
| 水谷 修   | 東北学院大学教授                  | 前宮城県社会教育委員  |
| 中塩 栄一  | 石巻市立青葉中学校長                |             |
| 阿部 雄也  | 富谷町生涯学習課長                 |             |
| 佐々木 賢司 | 会社経営                      | 前宮城県PTA連合会長 |
| 中保 良子  | NPO子育て応援団ひよこ理事            |             |
| 千葉 加代  | 登米市協働教育プラットフォーム事業コーディネーター |             |
| 岩淵 礼子  | 大河原南小学校放課後子ども教室コーディネーター   |             |
| 利光 保則  | 株式会社明治東北支社<br>お客様相談室長     | みやぎ教育応援団員   |

**東日本大震災復興支援 特別公開 ゴッホの《ひまわり》展について**

- 1 名 称 東日本大震災復興支援 特別公開 ゴッホの《ひまわり》展
- 2 会 期 平成26年7月15日（火）から8月31日（日）まで
- 3 休 館 日 毎週月曜日  
※ ただし7月21日（月）は開館，7月22日（火）は休館
- 4 会 場 宮城県美術館1階 展示室1 特設スペース
- 5 開館時間 午前9時30分から午後5時まで ※発券は閉館30分前まで

**6 内 容**

損保ジャパン東郷青児美術館所蔵のゴッホの《ひまわり》はフィンセント・ファン・ゴッホが最も充実していたアルル時代の傑作ですが、保存管理が大変難しいため、原則として館外へ貸し出しされないことがない作品として知られています。このたび、明るい光を求めたゴッホが、南フランスのアルルで描いた《ひまわり》を今なお復興の途上にある被災地域の方々に観覧いただくことで、明るさと勇気をもたらすことを願い、株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社の協働による支援活動に加え、カメイ株式会社の御協力もいただき、東日本大震災復興支援事業として、東北での初公開が実現したものです。

この展覧会では、ゴッホの《ひまわり》と宮城県美術館及びカメイ株式会社所蔵の「花」をテーマとする作品19点を合わせた全20点を展示します。

- 7 観 覧 料 一般700円（600円） 学生500円（400円） 小・中・高校生 無料  
※ カッコ内は20名以上の団体料金

**8 主 催**

「東日本大震災復興支援 特別公開 ゴッホの《ひまわり》展」実行委員会、宮城県、宮城県美術館、損保ジャパン東郷青児美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

**9 県内高校生の招待**

津波によって大きな被害を受けた沿岸部地域の高等学校（18校）に通う美術部員等、美術に関心がある生徒（360名程度）を招待する。

# Vincent van Gogh: Sunflowers, 1888

フィンセント・ファン・ゴッホ《ひまわり》 1888年 損保ジャパン東郷青児美術館蔵



東日本大震災復興支援

特別公開

## ゴッホの《ひまわり》展

2014年 7月15日(火) - 8月31日(日) 休館日/月曜日(ただし7月21日は開館)、7月22日(火)  
開館時間/午前9時30分～午後5時(観覧券の発売は午後4時30分まで)

宮城県美術館1階 展示室1特設スペース

主催/「東日本大震災復興支援 特別公開 ゴッホの《ひまわり》展」実行委員会、宮城県、宮城県美術館、損保ジャパン東郷青児美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援/文化庁、復興庁、仙台市教育委員会、河北新報社、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、Date fm、ラジオ3 FM76.2

特別協力/カメイ美術館 協力/日本通運

特別協賛/  損保ジャパン  日本興亜損保  カメイ

宮城県美術館

THE MIYAGI MUSEUM OF ART

# ゴッホの《ひまわり》展

Vincent van Gogh: Sunflowers, 1888

## 関連事業

### ●講演会「ゴッホとドイツと日本」

西村勇晴氏(北九州市立美術館館長)  
2014年7月27日(日) 午後1時30分～  
アートホール

### ●展示解説(当館学芸員)

2014年7月19日(土)、8月10日(日)、8月30日(土)  
いずれも午後1時30分～  
観覧券をお持ちの上、展示室入口にお集まりください。

### 観覧料 ※カッコ内は20名以上の団体料金

一般 700(600)円 / 学生 500(400)円 / 小・中・高生無料

※本展は、「特別展 手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」「篠山紀信展 写真力」の観覧券でもご覧になれます。

### 交通案内 ※駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

#### 1. バスご利用の場合

- ① 仙台駅西口バスプール仙台市営バス16番乗場から「交通公園行(広瀬通経由)」に乗り、二高・宮城県美術館前下車
- ② 広瀬通一番町バス停(仙台フォーラス前)からも上記「交通公園行(広瀬通経由)」バスをご利用になれます。

#### 2. タクシーの場合/仙台駅から約10分

#### 3. るーぶる仙台バスの場合/二高・宮城県美術館前下車

#### 4. 高速道路利用の場合

東北自動車道・仙台宮城I.C.より仙台方面(仙台西道路)に入り、青葉城趾方面を経由して美術館へ。I.C.より約15分。

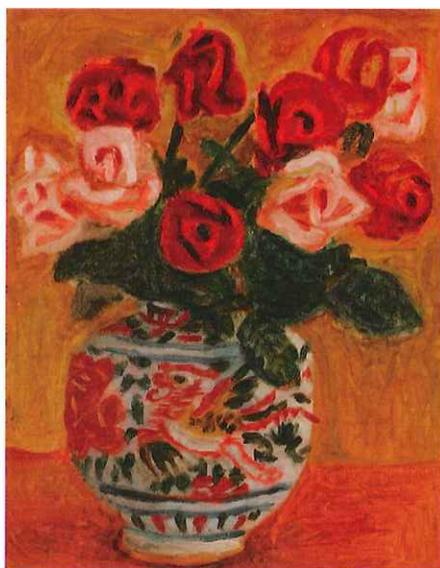


#### ◎特別展のご案内

特別展 手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから  
2014年5月31日(土)～7月27日(日)  
篠山紀信展 写真力  
2014年8月6日(水)～10月19日(日)

## 宮城県美術館 THE MIYAGI MUSEUM OF ART

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 Tel.022-221-2111  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>



梅原龍三郎《赤絵壺薔薇図》1944年 カメイ株式会社蔵



モーリス・ド・グラフィック《春の花》1950年頃 カメイ株式会社蔵  
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2014 F0061



パウル・クレー《グラジオラスの静物》1932年 宮城県美術館蔵



長谷川瀧二郎《バラ》1938年 宮城県美術館蔵

この度、東日本大震災復興支援事業として、損保ジャパン東郷青児美術館蔵のゴッホの《ひまわり》を特別公開いたします。この作品は、フィンセント・ファン・ゴッホが最も充実して制作したアルル時代の傑作ですが、保存管理が大変難しいため、原則として館外へ貸し出しされないことがない作品として知られています。

この展示会は、明るい光を求めたゴッホが、南フランスのアルルで描いた《ひまわり》(損保ジャパン東郷青児美術館蔵)を観覧いただくことで、いまなお復興の途上にある被災地域の方々に、明るさと勇気をもたらすことを願って、株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社の協働による支援活動の一環として、カメイ株式会社の協力により、東北での初公開が実現したものです。ゴッホの《ひまわり》の他に、宮城県美術館とカメイ株式会社が所蔵する花をモチーフとした作品19点を加えた、全20点の作品が展示されます。

協賛

アイリスオオヤマ

一蔵

NICS JUI 暮らしの生命

ENEOS グローブ株式会社

大から 株式会社 岡村製作所

東北 株式会社

アイトップ

KARCHER ケルヒャー

SAPPORO

ENEOS

77 七十七銀行

CARIER COLLEGE 菅原学園

株式会社 清月記

セルコホーム

Coca-Cola

仙台トヨペット

一生運のパートナー 第一生命

株式会社 バイタルネット

株式会社 橋本店

FUJISAKI

FUJI XEROX 富士ゼロックス宮城株式会社

FUJITSU

株式会社 富士通マーケティング

BRIDGESTONE

Marubeni

MIZUHO みずほ銀行

MIZUHO みずほ証券

MIZUHO みずほ信託銀行

今日を愛する。

LION

清水建設

DNP 大日本印刷

## 教育庁関連情報一覧（平成26年6月10日～平成26年7月14日）

| NO. | 概要   |
|-----|--|
| 1   | <p><b>○大河原商業高等学校が地元企業と連携した電子商取引の実践的な授業を展開</b></p> <p>大河原商業高等学校が「楽天IT学校」と連携し、地元企業と連携して電子商取引を学ぶことによって、実際にホームページ作成による売り場の構築、商品プロデュース、販売までを実践し、インターネット販売の現状と課題を研究する授業を実施する。</p> <p>【概要】</p> <p>日 時 平成26年6月24日（火）13時30分～15時20分</p> <p>場 所 宮城県大河原商業高等学校 視聴覚教室</p> <p>講 師 楽天株式会社 加藤大輔 氏<br/>有限会社益野製菓 営業部長 佐藤進 氏（第2回目より担当）</p> <p>講義予定 第1回 6月24日（火）ネットショップの基本、商品紹介の仕方<br/>第2回 7月15日（火）店舗の具体例の紹介 ※9月以降も年度内に第7回まで実施予定。</p> <p>対象生徒 3年「課題研究」 調査研究班 15名 ※ 楽天IT 学校（社会貢献活動）とは、次世代を担う子供たちにネットショッピング運営の実体験を通じ、実践的な電子商取引を理解いただくための出張授業です。</p> <p>(担当：高校教育課)</p>   |
| 2   | <p><b>○リトルリーグ野球チーム「宮城利府リーグ」が全国大会に初出場</b></p> <p>ザバス杯第48回全日本リトルリーグ野球選手権大会東北連盟大会で準優勝し、全国大会に初出場する「宮城利府リーグ」の選手及び関係者が、その報告のため6月20日（金）に県を表敬訪問した。</p> <p>【大会概要】</p> <p>大会名 ザバス杯第48回全日本リトルリーグ野球選手権大会</p> <p>期 日 平成26年6月27日（金）～29日（日）、7月5日（土）～6日（日）</p> <p>会 場 東京都江戸川区球場（ほか） 出 場 16チーム</p> <p>結 果 ベスト8</p> <p>(担当：スポーツ健康課)</p>    |

| NO. | 概要   |
|-----|--|
| 3   | <p>○「JR東日本東北」「七十七銀行」が第85回都市対抗野球大会に出場</p> <p>第85回都市対抗野球大会に東北代表として出場する「JR東日本東北」「七十七銀行」(ともに仙台市)の選手及び関係者が、その報告のため6月30日(月)に県教育委員会を表敬訪問した</p> <p>【大会概要】</p> <p>大会名 第85回都市対抗野球大会<br/> 開催日 平成26年7月18日(金)から12日間<br/> 会場 東京ドーム<br/> 出場 34チーム</p> <p>【東北第一代表】JR東日本東北 3年ぶり24度目の出場 (最高成績：ベスト4 (H23))<br/> 【東北第二代表】七十七銀行 2年ぶり10度目の出場 (最高成績：ベスト4 (H16))</p> <p>(担当：スポーツ健康課)</p>   |
| 4   | <p>○「NOTICE of HONDA 災害支援基金」からサッカーボールを贈呈</p> <p>サッカー日本代表の本田圭佑選手が設立した「NOTICE of HONDA 災害支援基金」から、県内公立小学校全校にオリジナルサッカーボールを寄贈するため、関係者が7月8日(火)に県教育委員会を訪問した。</p> <p>【概要】</p> <p>訪問者 HONDA ESTILO株式会社 サッカースクール責任者 鈴木良介 氏<br/> 寄贈内容 オリジナルサッカーボール 3,564個<br/> 県内公立小学校 396校 (その他、東北6県すべての公立小学校2,016校にも同様に寄贈)</p> <p>※「NOTICE of HONDA 災害支援基金」とは、サッカー日本代表の本田圭佑選手が「本場に支援が必要な人達に、必要な時期に、必要な物を届ける」ことを趣旨として、平成23年3月に設立。</p> <p>(担当：スポーツ健康課)</p>                    |

## 平成26年3月高等学校卒業者の就職内定状況(6月末現在)について

|          | H25.9月末 | H25.10末 | H25.11末 | H25.12末 | H26.1末 | H26.2末 | H26.3末 | H26.4末 | H26.5末 | H26.6末        | 前年同月         | 増減<br>(当月-前<br>年同月) |     |
|----------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------------|---------------------|-----|
| 内定率      | 37.3%   | 62.6%   | 78.9%   | 87.2%   | 91.7%  | 95.9%  | 98.6%  | 99.1%  | 99.1%  | <b>99.2%</b>  | 99.3%        | -0.1%               |     |
| 男子       | 39.3%   | 65.5%   | 80.9%   | 88.2%   | 93.1%  | 96.7%  | 98.9%  | 99.1%  | 99.2%  | <b>99.3%</b>  | 99.6%        | -0.3%               |     |
| 女子       | 34.5%   | 58.8%   | 76.3%   | 85.8%   | 89.7%  | 95.0%  | 98.2%  | 99.0%  | 99.1%  | <b>99.1%</b>  | 99.0%        | 0.1%                |     |
| 全国平均     | —       | 64.1%   | —       | 85.3%   | —      | —      | 96.6%  | —      | —      | —             | —            | —                   |     |
| 内訳       |         |         |         |         |        |        |        |        |        |               |              |                     |     |
| 卒業者      | 19,957  | 19,970  | 19,950  | 19,945  | 19,924 | 19,898 | 19,869 | 19,868 | 19,868 | <b>19,867</b> | 20,459       | -592                |     |
| 進学希望者    | 14,706  | 14,833  | 14,859  | 14,875  | 14,850 | 14,804 | 14,786 | 14,772 | 14,771 | <b>14,765</b> | 15,370       | -605                |     |
| 臨時的仕事希望者 | 70      | 86      | 96      | 106     | 148    | 195    | 241    | 259    | 261    | <b>263</b>    | 252          | 11                  |     |
| 進路未定者    | 130     | 116     | 113     | 109     | 104    | 86     | 61     | 55     | 51     | <b>52</b>     | 60           | -8                  |     |
| 就職希望者    | 5,051   | 4,935   | 4,882   | 4,855   | 4,822  | 4,813  | 4,781  | 4,782  | 4,785  | <b>4,787</b>  | 4,777        | 10                  |     |
| 内訳       | 県内      | 4,298   | 4,207   | 4,174   | 4,155  | 4,120  | 4,100  | 4,069  | 4,072  | 4,076         | <b>4,075</b> | 4,028               | 47  |
|          | 県外      | 753     | 728     | 708     | 700    | 702    | 713    | 712    | 710    | 709           | <b>712</b>   | 749                 | -37 |
|          | 職安・学校紹介 | 4,163   | 4,134   | 4,147   | 4,140  | 4,095  | 4,070  | 4,041  | 4,039  | 4,039         | <b>4,038</b> | 4,089               | -51 |
|          | 縁故・自営   | 230     | 255     | 277     | 298    | 334    | 350    | 371    | 375    | 377           | <b>377</b>   | 344                 | 33  |
|          | 公務員     | 658     | 546     | 458     | 417    | 393    | 393    | 369    | 368    | 369           | <b>372</b>   | 344                 | 28  |
| 就職内定者    | 1,882   | 3,089   | 3,853   | 4,234   | 4,420  | 4,618  | 4,713  | 4,737  | 4,744  | <b>4,749</b>  | 4,745        | 4                   |     |
| 内訳       | 県内      | 1,469   | 2,531   | 3,234   | 3,581  | 3,745  | 3,919  | 4,006  | 4,030  | 4,036         | <b>4,038</b> | 3,998               | 40  |
|          | 県外      | 413     | 558     | 619     | 653    | 675    | 699    | 707    | 707    | 708           | <b>711</b>   | 747                 | -36 |
|          | 職安・学校紹介 | 1,820   | 2,873   | 3,436   | 3,718  | 3,821  | 3,950  | 3,996  | 4,013  | 4,014         | <b>4,015</b> | 4,062               | -47 |
|          | 縁故・自営   | 62      | 100     | 134     | 195    | 262    | 313    | 352    | 359    | 363           | <b>364</b>   | 339                 | 25  |
|          | 公務員     | 0       | 116     | 283     | 321    | 337    | 355    | 365    | 365    | 367           | <b>370</b>   | 344                 | 26  |
| 就職未内定者   | 3,169   | 1,846   | 1,029   | 621     | 402    | 195    | 70     | 45     | 41     | <b>38</b>     | 32           | 6                   |     |
| 月間受験者数   | 3,949   | 1,014   | 800     | 348     | 162    | 187    | 86     | 27     | 11     | <b>11</b>     | 5            | 6                   |     |

## 【概況】 ※( )内は前年同月

- ① 就職内定率 : 99.2% (99.3%)
- ② 進路希望の割合状況 : 進学 74.3% (75.1%) 就職 24.1% (23.3%)  
: 臨時的仕事 1.3% (1.2%) 未定 0.3% (0.3%)
- ③ 就職希望者の割合 : 県内 85.1% (84.3%) 県外 14.9% (15.7%)
- ④ 県内外の内定率 : 県内 99.1% (99.3%) 県外 99.9% (99.7%)
- ⑤ 内定者の割合 : 県内 85.0% (84.3%) 県外 15.0% (15.7%)
- ⑥ 学科別内定率

| 学科別内定率 | 普通科   | 農業科    | 工業科   | 商業科    | 水産科    | 家庭科   | その他    | 総合学科   |
|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 平成25年度 | 98.8% | 100.0% | 99.9% | 99.9%  | 100.0% | 93.9% | 100.0% | 98.6%  |
| 平成24年度 | 98.7% | 99.3%  | 99.9% | 100.0% | 100.0% | 99.0% | 95.5%  | 100.0% |

## ⑦地域別内定状況

| 地域別内定率 | 白石    | 大河原   | 仙台    | 大和     | 塩釜    | 大崎    | 石巻    | 築館     | 迫      | 気仙沼    |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 平成25年度 | 99.5% | 97.8% | 98.9% | 100.0% | 99.3% | 99.7% | 99.5% | 98.9%  | 100.0% | 100.0% |
| 平成24年度 | 98.7% | 99.5% | 99.2% | 100.0% | 98.2% | 99.3% | 99.6% | 100.0% | 99.5%  | 100.0% |